

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
マンガ制作実習 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	いづみおとは			実務 経験	有	職種	マンガ家				
担当教員紹介											
マンガ家。4年制の1年次の授業をメインに担当。 主な作品に、一迅社『死神アリス』、コアマガジン『純恋プリズン』がある。現在は、T0ボックス『リタイヤした人形師のMMO機巧叙事詩』を連載中。											
授業概要											
この科目では、マンガ制作における技法や知識を、各制作工程のプロット・ネーム・下描き・ペン入れ・仕上げに合わせて習得を行っていきます。各工程において必ず講師又は教員がチェック行い、漫画業界の編集者と取り組む形式と同様な流れを組むことによって、作品を作るだけでなく『仕事として制作を行う意識』も身に着けていく。											
到達目標											
この科目では、各授業でのレクチャーと、前期期間を通して制作を行う読切作品を元に、日本の漫画を作る上で基本となる技術と知識を身に着けることを主目標とする。この授業内での制作物はアナログでの制作を主として、デジタルとアナログ共に制作が行える人材を育成します。各提出物の期限や、読切作品の制作における各工程でのチェックを厳守することにより、作品制作を通して仕事としての感覚を身に着けることも目標とする。											
授業方法											
この授業では、漫画制作において基礎となる考え方や技術を、1本の読切作品の制作を通して身に着けていく。読切作品以外にも、各授業で技術習得の為の小課題をアナログで制作することにより、多種多様な道具や環境においても作品を制作できる技術向上を養う。各課題は全て締め切りを設け、仕事としての感覚も身に着けていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題を総合的に評価									
成果発表	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
この授業では、アナログでの制作における基礎技術及び、アナログ表現の習得度を確保するために課題制作を実施するため、授業内ではしっかりと先生の話を聞くだけでなく、必ずメモを取るよう指導を行う。前期期間を通して制作を行う読切作品を、各工程毎にチェックを行い、適切や仕事としての意識を養うため、遅刻や欠席は認めない。4分の3以上の出席をしない者は、課題の評価対象にならない。完成した作品は必ず持込み又は投稿を行う。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	自身の自己紹介をマンガで制作 プロット・ネームについて理解する										
第2回	自身の自己紹介をマンガで制作 下描きについて理解する										
第3回	制作した自己紹介マンガを受講者で講評を行う/前期制作10P漫画のプロット制作										
第4回	表情のみでキャラクターの喜・怒・哀・驚を表現する/前期制作のプロット制作										
第5回	頭身について理解する キャラクターに動きをつける/前期制作のネーム制作										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
マンガ制作実習 2	
第6回	年齢による顔・体系の変化を理解する/前期制作のネーム制作
第7回	物語の構成『起承転結』について理解する/前期制作のネーム制作
第8回	コマ割の演出による視線誘導を理解する/前期制作の下描き制作
第9回	遠景・中景・近景について理解する/前期制作の下描き制作
第10回	1点透視・2点透視について理解する/前期制作の下描き制作
第11回	自然物・流動体の表現について理解する/前期制作のペン入れ制作
第12回	効果線について理解する/前期制作のペン入れ制作
第13回	ペンタッチによる質感表現を理解する/前期制作のペン入れ制作
第14回	トーンによるモノクロのバランスを理解する/前期制作の仕上げ制作
第15回	ホワイトによるテクニック・修正方法を理解する/前期制作の完成